

トラブル対処方

アースオーガー

①過負荷ランプがつく(過負荷=オーバーワーク状態になり制御回路にて遮断)

発電機の出力が定格数値でているか確認 (200V/1500回転・220V/1800回転)

サーマルリレーのリセットボタンを押し、リセットする

ブレーカーのリセットボタンを押し、リセットする

キャプタイヤケーブルのコネクター色違い、損傷、差込不良の確認

ブレーカーを上げ、通電させ過負荷ランプが消えているのを確認後運転

注意 過負荷ランプの点灯表示は、オーバーワーク状態での施工を示します、再運転施工中はアンペア計を重視し十分気を付けてください

②ブレーカーが落ちる(漏電=電気が伝って漏れています)

発電機の出力が定格数値でているか確認 (200V/1500回転・220V/1800回転)

① 発電機のブレーカーが落ちた場合

ブレーカーのリセットボタンを押しリセットする

制御盤の1次線側コネクターを外し、発電機を運転

発電機のブレーカーが落ちた場合→1次線の不良です

発電機のブレーカーが落ちなかった場合→制御盤、2次線、モーターいずれかに異常あり

尚、最近のブレーカーは感知度が上がり制御盤より発電機のブレーカーが先に落ちる事もあります。

② 減速機の制御盤のブレーカーが落ちた場合

ブレーカーのリセットボタンを押しリセットする

モーターが2個の場合(D-120HP~SMD240HP等)

モーター1台ずつ運転させる→ブレーカーが落ちた方のモーターに異常あり(2次線orモーター)

減速機のコネクタを外し運転→ブレーカーが落ちた場合、2次線が不良

→ブレーカーが落ちなかった場合、モーターに異常あり

モーターが1個の場合(D-50KP~D-80KP等)

減速機のコネクタを外し運転→ブレーカーが落ちた場合、2次線が不良

→ブレーカーが落ちなかった場合、モーターに異常あり

メガテスターがある場合 制御盤の2次線側コネクタを外し、メガテスターで2次線を測定→0MΩの場合モーターの焼損が考えられます

→2MΩ以上の場合2次線の不良が原因と考えられます

減速機のコネクタを外し、メガテスターでモーターを測定→0MΩの場合モーターの焼損です

→2MΩ以上の場合2次線の不良が原因と考えられます

③始動渋滞ランプがつく(回路の渋滞)

制御回路が渋滞し、エラーを起こしている状態です。

- 1 スイッチを全てOFFにし、発電機も落とし、しばらくたって電源を入れてください
- 2 制御盤の中のタイマーの接触不良が、まず考えられます、少しゆすって見てください。(もう一つあれば差替えてみてください)
- 3 マグネットスイッチのカバーを開けて、接点がかっついたままになっていないか確認してください

オペレーターさんをお願い

毎日お疲れ様です。リモコンのアンペア計を見ながらの安全施工を今後ともお願い申し上げます。

モーターにも限界があり、簡単に表にしてみました。

高速の方がレッドゾーンが低い為、ブレーカーがおちるのは、低速から高速に切替時によく落ちます。

減速機 型式	モーター	巻き数	レッドゾーンはここから (50Hz)	
			低速	高速
D-50KP	37KW	4/6P	135A~	130A~
D-60KP	45KW	4/6P	170A~	160A~
D-80KP	55KW	4/8P	215A~	185A~
SMD-80KP	55KW	4/6P	200A~	235A~
D-120NP	45KWx2個	4/8P	370A~	310A~
SMD-120NP	45KWx2個	4/8P	370A~	310A~
D-150SP	55KWx2個	4/8P	435A~	370A~
SMD-150HP	55KWx2個	4/8P	435A~	370A~

キャプタイヤの太さ(外径)から、サイズを知りたい方へ

2PNCT(キャプタイヤの種類)

	3芯	6芯
50 SQ	35Φ	48Φ
60 SQ	38Φ	52Φ
80 SQ	45Φ	62Φ
100 SQ	49Φ	-----
150 SQ	56Φ	-----

ケーブルコネクタのサイズを知りたい方へ（ナカデン製）

